

シャチ 北西太平洋

Killer whale, *Orcinus orca*



管理・関係機関

国際捕鯨委員会 (IWC)

最近一年間の動き

北海道周辺において鯨類目視調査を実施し、個体識別用写真を撮影した。シンポジウム「シャチの現状と繁殖研究に向けて」が開催され、1997年に特別採捕された5頭のシャチの研究結果が発表された。

生物学的特性

- 寿命：雄 50～60 歳、雌 80～90 歳
- 成熟開始年齢：雄 15.0 歳、雌 14.9 歳
- 繁殖期・繁殖場：10 月～3 月、繁殖場は不明
- 索餌期・策餌場：北西太平洋
- 食性：イカ類、硬骨魚類、軟骨魚類、海亀類、海鳥類、アザラシ類、アシカ類、鯨類
- 捕食者：サメ (幼獣)

利用・用途

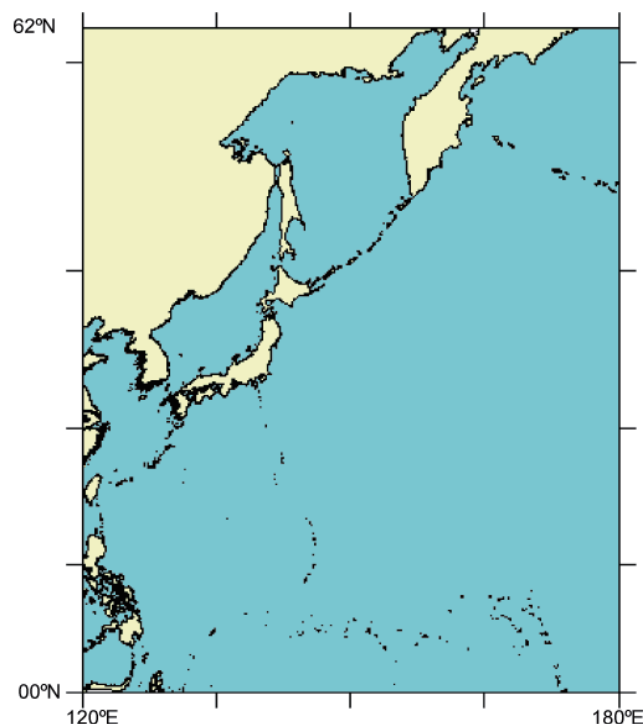
水族館展示、刺身、鯨油など

漁業の特徴

本種の捕獲は、小型捕鯨業及びイルカ追い込み漁業で行なわれてきた。小型捕鯨業による捕獲は、主に房総～三陸沖 (47.6%) と北海道周辺 (36.9%) であった。小型捕鯨業による捕獲は、春から初夏にかけて北海道オホーツク海沿岸と道東、夏から初冬にかけて道東と三陸沖に推移していた。イルカ追い込み漁業による捕獲は、和歌山県太地で行われてきて、捕獲は2月～5月に集中していた。

漁業資源の動向

小型捕鯨業による捕獲は、戦後 1960 年代半ばまでは年間数十頭で推移してきたが、1966 年から3年間で年間 100 頭以上を捕獲して以降、急激に少なくなり、1972 年以降は年間多くても数頭程度で推移してきた。1991 年からは小型捕業に対する本種の捕獲枠は与えられておらず、事実上捕獲が禁止されている。イルカ漁業による捕獲は、1963 年以降合計 87 頭である。イルカ漁業による捕獲には水族館用の生け捕りも含まれる。現在は、学術調査用の特別捕獲のみ認められており、1997 年にこれにより 5 頭が捕獲されている。



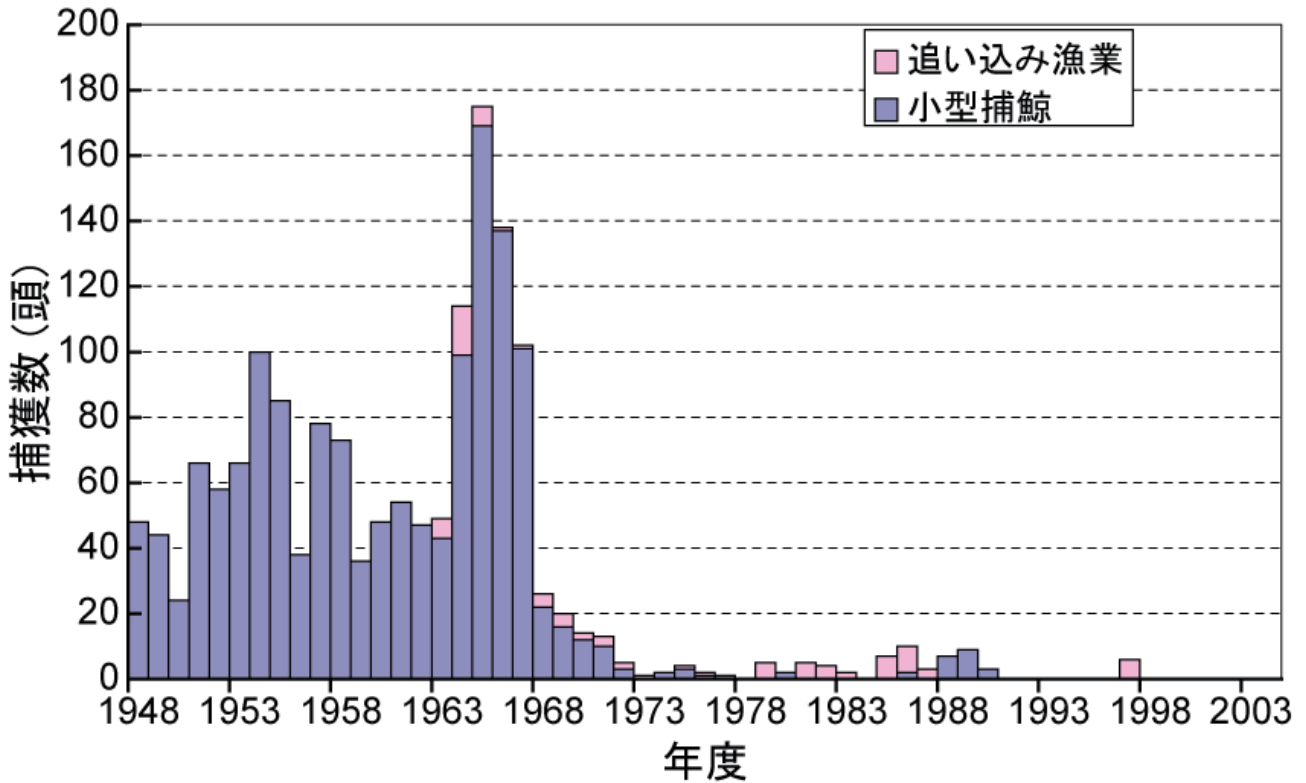
北西太平洋のシャチの分布域(青)、本海域に広く分布する。

資源状態

西部北太平洋における本種の生息頭数は、目視調査から北緯 40 度以北で 7,512 頭 (CV=0.29)、北緯 20 度～40 度で 745 頭 (CV=0.44) と推定された。北西太平洋における本種系統群の情報は全くないが、米国側の情報から類推すると複数の系統群があることは十分予想される。戦後 1,600 頭近くが捕獲されていることから、系統群によっては資源が減少しているものもあると予想される。

管理方策

現在、学術目的以外での捕獲は禁止されている。



我が国のシャチ捕獲数の推移

資源評価まとめ

- 個体識別による生物学的パラメータ推定と個体数推定。
- 目視調査による資源量推定。

資源管理方策まとめ

- 学術目的以外の捕獲は禁止。

資源評価法

本種は背びれ後方の鞍状白斑や背びれの傷を手がかりにする個体識別により、生物学的パラメータの推定や個体数推定が可能である。本手法による調査はカナダ・バンクーバー島周辺で1973年から開始された。また、目視調査による資源量推定も行われている。捕獲があった時代には、CPUEによって資源動向を見ることもできた。

シャチ（北西太平洋）の資源の現況（要約表）

資源水準	調査中 (系群によっては低位の可能性)
資源動向	増加傾向
世界の漁獲量 (最近5年間)	不明
我が国の漁獲量 (最近5年間)	0頭